

「順天堂保健看護研究」創刊にあたって

平成24年4月吉日

順天堂大学保健看護学部

学部長 稲 富 恵 子

本学部は順天堂大学の第4番目の学部として平成22年4月に開学いたしました。定員120名で、「仁」の精神を基盤に「心身を癒す看護」を実践できる保健師、看護師養成を目的としています。4月の開学と同時に教育課程に則った授業科目の教育が始まりました。初年度着任専任教員は学部長、医学部生理学兼任助教含めて14名で教育・研究のスタートをきりました。教授・先任准教授は10ある委員会組織の委員長を複数兼ね、各種委員会のメンバー構成員となり、規程や内部打合せ事項を決めて行きました。教員は育った背景因子が異なるとはいえ、本学の学是「仁」をキーワードに、本学保健看護学部の教育を担う努力をしつつ、現在の大学の使命として教育・研究・地域貢献を進めなければなりません。

研究に関しましては、本学では共同研究に力を入れ、学長特別共同研究プロジェクト研究費補助および学部共同研究費補助により、共同研究を推進しています。更に、個人研究費も支給されています。本学部では教員の研究専門領域を互いに知ることが共同研究を始める最初の仕事となりました。研究委員会主催で研究会を開き、本学部に集うた教員の研究の紹介発表の場を通してお互いの専門領域を知ることができました。各々の発表内容は本学部の紀要であります「順天堂保健看護研究」に記録として残すことが大切であると思います。本学部での研究のスタートあるいは蓄積の礎にさせていただきたいと思います。平成25年には順天堂は創立175周年を迎えますが、明治8年10月に発行された『順天堂醫事雑誌』の内容は日本の医学の先端を示す内容であり巻8まで出たと記録されています。その創刊のために2代目堂主佐藤尚中が序文の中で「ベルリン大学で医学士の許可を得た佐藤進（3代目堂主）の医法と施す所の技術は我耳目に新たに後世のために筆記し、冊子にして有志の輩に分たんとす」と書いておられます。記録を残しておくことの大切さに私は感銘を受けました。

順天堂大学にはすでに順天堂医学会の発行による「順天堂医学」、スポーツ健康科学部に「順天堂スポーツ健康科学研究」、医療看護学部に「医療看護研究」が発刊されています。研究を進めておられる皆さまには現在可能なところでまとめていただくよう、投稿規程に則った原稿をお待ちしています。種類は原著、研究報告、総説その他であります。

2年目にして、本学部は教育のみならず研究発表の環境整備に向かいスタートいたしました。しかし、日本の看護系大学院は年々新設され、平成23年度には修士課程132、博士課程61あり、同年の修了生または卒業生は夫々2,424名、861名おり、膨大な数の論文が誕生することになります。当然の事ながら原著論文発表にあたっては、研究者自身の研究倫理面の配慮が必要でさらに査読者の厳格なチェックが必要となります。

皆様からの多数のすばらしい研究発表によって「順天堂保健看護研究」が順天堂開学175年を継承する学流の1つとして、今後着実に発展することを祈念いたします。